Press Release

報道関係各位

2026 年 10 月 30 日
株式会社 PR TIMES

プレスリリースアワード受賞者／Best101・プレスリリースエバンジェリストが集結

司会：武田真一さんが見届ける、2026 年のタイトル「ねえチャッピー、明日こそは晴れ間を見せて」に決定



「2026 年のタイトル」を発表する武田真一さん

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES は、「プレスリリースの日」である 2026 年 10 月 28 日（水）、ANA インターコンチネンタルホテル東京で、2026 年を象徴する一行「2026 年のタイトル」を決める参加型企画を初めて開催しました。司会は武田真一さんが務め、プレスリリースアワード受賞者、Best101 選出企業の担当者、プレスリリースエバンジェリストら 120 名超が参加し、対話と投票を経て「ねえチャッピー、明日こそは晴れ間を見せて」に決定しました。出来事の価値を見つけ、社会に届ける言葉を考えてきた参加者が、それぞれの現場から見てきた今年の変化を持ち寄り、一つのタイトルへと磨き上げました。

「2026 年のタイトル」と 選んだ言葉に込めた意味

2026 年のタイトル：「ねえチャッピー、明日こそは晴れ間を見せて」

選ばれたタイトルには、AI が身近になる日常と、天候に翻弄された日々の実感、そして未来を明るくしたいという思いが込められています。提案したテーブルによると、卓内のほぼ全員から AI の話題が挙がる一方、遊園地の広報担当者から、天気に大きく振り回された夏の経験が語られました。そこから生まれた「晴れ間」という言葉に、未来への願いを重ね、AI への親しみある呼びかけとともに一文に表されました。





【報道関係の方から本件に関するお問合せ先】
株式会社 PR TIMES　コーポレートコミュニケーション部　PR・IR チーム：杉本・新立　TEL：03-6625-4887　Mail：koho@prtimes.co.jp

出来事にタイトルをつけてきた人たちが 今年そのものに向き合う



プレスリリースのタイトルには、発表する出来事の中から、何を社会に伝えるべきかを見つけ、まだその出来事を知らない人にも届く言葉にする役割があります。当社は、日々その実践に向き合っている人たちの視点を重ねることで、2026 年の出来事や変化を捉える一文を生み出したいと考え、本企画を設けました。

参加対象は、プレスリリースの発信が評価されたアワード受賞者や Best101 選出企業の担当者、プレスリリースの活用を周囲へ広めているエバンジェリストです。企業や地域の挑戦、人々の思いを社会に届ける人たちが、今年の何に目を留め、どんな言葉にするのか。その視点を持ち寄り、今年そのものにタイトルをつける試みです。

異なる現場から見た一年を共有し 一文を共同編集

参加者は、年表とテーマ別資料を参考に、一人ひとりで今年を表す一文を考えました。続いて、各テーブルで自分のタイトルと、その言葉を選んだ理由を共有。「今年らしさ」「事実・変化」「伝わりやすさ」の三つの視点を手がかりに、テーブルとしての一文を共同編集しました。

各テーブルから、2026 年を表す 25 のタイトル案が寄せられました。「愛と AI」「AI が変える社会、問われる人間の価値。」「人間しかできないことは何か」など、AI と人間の関係を問い直す案が目立ちました。また、「見えない不安、見えた信頼」「つながる世界、試される信頼。」など、変化の中で人や社会の関係を見つめる言葉も。異なる現場で発信に携わる参加者だからこそ、今年を捉える多様な視点が表れました。

25 案から参加者の投票で選出





各テーブルから提出された 25 案を会場で共有し、一次投票と最終投票を実施しました。一次投票では一人 5 案を選び、一次投票で上位の 5 案を対象とする最終投票では一人 1 票で、今年を象徴する一行「2026 年のタイトル」を選出しました。

＜**一次投票で選出された 5 案**＞

・AI が変える社会、問われる人間の価値。
・日常の当たり前が揺らぎ、従来の価値を問いなおす年
・つながる世界、試される信頼。― 関係性の価値が問われる 2026 年 ―
・「ねえチャッピー、明日こそは晴れ間を見せて」
・情報を喰わせて、喰らった一年

最終投票では
・「ねえチャッピー、明日こそは晴れ間を見せて」
・情報を喰わせて、喰らった一年
が同率 1 位となり、急遽 25 チームによる最終投票が行われました。
そうして決定した 2026 年のタイトルは、

「ねえチャッピー、明日こそは晴れ間を見せて」

でした。

司会 武田真一さんからの講評



武田さんは「司会という立場を少し離れ」と前置きし、この日の感想を語りました。

「私も皆さんと同じように、いつも心がけていることがあります。それは、何が本当にパブリックな言葉なのか、ということです。自分の視点や意見、時には感情を付け加えて情報を伝えることが、人々の気づきにつながったり、この社会を少しでも良くすることにつながるのであれば、そういうことをやっていいんじゃないかと私は思っています。そんな時に大事なのが、自分の言葉が本当にパブリックなものになっている

【報道関係の方から本件に関するお問合せ先】
株式会社 PR TIMES　コーポレートコミュニケーション部　PR・IR チーム：杉本・新立　TEL：03-6625-4887　Mail：koho@prtimes.co.jp

か、問いかけることだと思っています。
　私たちは、企業や組織の一員として、与えられた任務に基づいて言葉を発しているのだと思います。でも、心だけは自由。真にこの社会全体のために言葉を届けたい。そういう志を常に持っておきたいと思っています。
　今日、さまざまなプレスリリースを見て、自社の製品やサービスを人々に知ってもらうだけではなく、それがどんな志のもとに送り出され、どんなふうに社会を変えていくのか。そんな、本当に考え抜かれたメッセージを皆さんが発信されていることを、とてもうれしく、心強く感じました。



　この社会を、私たち一人ひとりが少しでも生きやすいものにしていく。そんな思いを、今日は皆さんと共有できたのではないかと思っています。とても勉強になりましたし、楽しかったです。本当に皆さんに心から感謝を申し上げたいと思います。」

「2026 年のタイトル」開催概要

開催日：2026 年 10 月 28 日（水）
会場：ANA インターコンチネンタルホテル東京
主催：株式会社 PR TIMES
参加者：127 名（プレスリリースアワード受賞者、Best101 選出企業の担当者、プレスリリースエバンジェリストら）
司会：武田真一氏
実施内容：個人ワーク、卓内での共有・共同編集、投票、結果発表
　本企画は、「プレスリリースアワード 2026」授賞式および「プレスリリースエバンジェリスト」第五期認定式に続く第三部として実施しました。
　プレスリリースアワード 2026 授賞発表　https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001708.000000112.html
　プレスリリースエバンジェリスト第五期認定発表　https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001710.000000112.html

【株式会社 PR TIMES 会社概要】
ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ
会社名　　：株式会社 PR TIMES　（東証プライム、名証プレミア　証券コード：3922）
所在地　　：東京都港区虎ノ門一丁目 17 番 1 号　虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー 28F
設立　　：2005 年 12 月
代表取締役：山口 拓己
事業内容　：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」（https://prtimes.jp/）の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」（https://prtimes.jp/story/）の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
- 動画 PR サービス「PR TIMES TV」（https://prtimes.jp/tv）の運営
- アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」（https://marph.com/）の運営
- カスタマーサポートツール「Tayori」（https://tayori.com/）の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」（https://www.jooto.com/）の運営（一般提供は 2027 年 7 月 31 日をもって終了予定）
- 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」（https://prtimes.com/magazine/）の運営
- プレスリリース専用エディター「PR Editor」（https://preditor.prtimes.com/app/）の運営
- Web ニュースメディア運営、等
URL　　：https://prtimes.co.jp/

【報道関係の方から本件に関するお問合せ先】
株式会社 PR TIMES　コーポレートコミュニケーション部　PR・IR チーム：杉本・新立　TEL：03-6625-4887　Mail：koho@prtimes.co.jp